

重点施策点検・評価表

3-1-1

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
1	<p>ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努める</p> <p>① 達人講座の実施</p> <p>活動内容</p> <p>地域のサークル等の講師(達人)が、小中学生(親子含む)を対象にボランティアで講座を開設し、17講座を実施する。 入門講座の要素を持ったものが主流であるが、茶道と大館曲げわっぱ太鼓は複数年受講し、技術の上達が見られる。</p> <p>点検評価</p> <p>□目標を上回る ■目標どおり □目標をやや下回る □目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>年度当初は、19講座を予定していたが、講師の都合により2講座は休講、1講座は募集しても応募者が無かつたため中止し、16講座を実施した。 平成29年度16講座開設 (うち、申し込み無し2件) 平成30年度19講座開設 (うち、申し込み無し1件、休校2件)</p> <p>課題等</p> <p>講座数が年々減りつつあるため、人財名簿の更新を行い、新たな講座の開設に努めた。 今年度より、前期、後期、通年の3パターンで募集し、より受講しやすい体制づくりを行った。</p> <p>取組の方向性</p> <p>■ 繼続 □ 廃止検討 □ 単年度</p> <p>学識経験者等の意見</p> <p>いろいろなことをやっていれば児童の興味や関心をひらうことができる。興味を持ってもらうこと、続けていくことが大事である。人数を集めるのは大変なことだが、待っている市民もたくさんいるので引き続き頑張っていただきたい。部活に入っていない子やスポーツの苦手な子にも良い取り組みである。</p>
② 人材リスト「おおだて人財名簿」の充実と活用	生涯学習課
活動内容	高等教育機関(大学、短大)や学校ボランティア、公民館等から新規人材を発掘し、特技や知識を持つ市民を「人財」として募集・登録し、学校や公民館などさまざまな学習活動の場で活用を促す環境の整備を図る。
点検評価	<p>□目標を上回る ■目標どおり □目標をやや下回る □目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>これまで登録していても利用実績がない人や団体があったため、継続するかどうかの確認を行った。結果、50人、16団体を名簿に掲載する。 平成29年度 登録133人 12団体 平成30年度 登録50人 16団体 (実際に活動できる人になった)</p>
課題等	<p>人財名簿登録者の高齢化による名簿取り消しが相次ぎ、登録者は年々減少してきている。平成30年度より人財名簿設置要綱を作成、名簿のレイアウトや利用方法を一新し、使いやすい名簿にすることで、登録件数増加及び講座開講を促していく。</p> <p>取組の方向性</p> <p>■ 繼続 □ 廃止検討 □ 単年度</p>
学識経験者等の意見	作りっぱなしではなく、きちんとチェックしながら使いやすいものにしていく努力は評価できる。 他の人のために自分の持っている知識・技能を提供してくれる人材は大切だ。情報を集めるのは大変だと思うが、自薦のみでなく他薦でもよいのではないか。地区公民館などに情報あるかもしれない活用してはどうか。

重点施策点検・評価表

3-1-2

推進目標		
3 ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策		
1	ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努める	担当課(館)
③ 「大館市出前講座」の充実と活用		生涯学習課
活動内容	市民の自主的な学習活動を支援するため、市の制度や事業等について市職員が出向いて説明を行う「出前講座(53講座)」を実施する。 平成29年度48講座 平成30年度53講座	
点検評価	<p>■目標を上回る <input type="checkbox"/>目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>平成30年度は、172件15,353人が受講し、昨年度より46件、4,705人の大幅な増加となつた。 ワンだふるはちくんダンス講座に加え、特別メニューはちくんあいさつ運動の希望者が多く、大幅増加の要因となつた。</p>	
課題等	ワンだふるはちくんダンス講座は、座ったままでも可能な「初級編」もメニューに加えて、幅広い市民に受講を促したい。また、防災や環境といった生活に密着したテーマの希望が多いことから、一層の周知をしていきたい。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	引き続き市民の学習活動を支援していただきたい。昨年の大文字まつりで、市のトップである市長や教育長が市民の前で「はちくんダンス」を披露するところを拝見したがビックリした。この取り組みへの市民の親しみが生まれるためにもすごいことである。	
④ 公民館事業への青少年の参加促進		中央公民館
活動内容	各公民館が、小・中・高校生を対象とした事業を学校休業日を利用して開催し、参加を促進する。既存の事業がマンネリにならないよう改善を加え、新規事業も企画・立案し、新規参加者が年々増えしていくよう配慮する。	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) <p>各公民館で、小中学生を対象とした事業を休日や夏・冬休みに実施した。「わんぱくスクール」や「キッズカレッジ」、「たしろ学舎」などの通年事業や、「将棋・囲碁教室」、「夏・冬まつり」、「算数・数学教室」、「新春書初め」などの単発事業。 高校生まちづくり会議「HACHI」では、「肉博」や「おおだてハッピー子育てプロジェクト」などのイベントに初参加し、来場者と交流を深めた。</p>	
課題等	青少年の参加を高めるために、小中学生を対象としたイベントや活動を企画することが必要である。新たなメニューを取り入れたり、対象者の枠を広げるなどの検討をしながら、参加者が増加するように配慮したい。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	「新春書初め」は老壯大生や桂桜高校生が講師を務め、世代間交流にもなり大変いいと思う。小学生時に参加した子が中学生になつても参加できるように会場を工夫して実施してはどうか。将棋連盟大館支部が講師を務める「将棋教室」は大人気だが、礼節の指導も含め、今後も頑張って継続していただきたい。 わんぱくスクールのロケット宇宙授業を、市内の全小学生が参加できるよう、学校教育課に所管を移して実施するよう検討していることは大変いいことだと思う。	

重点施策点検・評価表

3-2-1

推進目標		
3 ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策		
2 「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する		担当課(館)
① 学校支援活動事業の推進		生涯学習課
活動内容	市内の全小中学校を対象として、学校で必要とする活動と地域住民の知識と経験をマッチングさせ、地域の方々のボランティア派遣や地域の教育力を学校教育へ活用するなど、地域ぐるみで子どもを育む環境整備を図るとともに、学校を核とした地域の活性化につなげる活動を支援する。	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る <small>(達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</small>	<small>地域の方々から農業や調理の指導を受けることで、学校農園等で農作物の栽培や地場産商品の開発を学び、きりたんぽまつりやアメッコ市、ひない商人祭りなどで出店・販売するなど、地域行事を盛り上げている。また、地域の伝統芸能である「太鼓」や「舞」について、地域の伝承者から学ぶ機会を設けるなど、各学区ともさまざまな活動を通して、子どもたちの成長を支えるとともに、地域の活性化に努めた。</small> <small>各学区で活動している地域コーディネーターの委嘱化により、大館市での立場を明確にし、地域コーディネーターの活動を容易にするほか、地域コーディネーター間の連携を強化するため、「大館市地域学校協働推進員設置要綱」を制定した。また、1月25日には、26人の参加で連絡会議を開催した。</small>
課題等	来年度から各学区の地域コーディネーターを、「地域学校協働活動推進員(通称:地域コーディネーター)」として委嘱し、コーディネーター業務の円滑化と情報共有化を図ることで、学校と地域の連携活動の一層の充実に努める。	<small>取組の方向性</small> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	学校側にとって、先生たちにないノウハウを持った地域の方々の存在はありがたいものである。さらに、その情報の共有化を図るためにも継続して取り組んでいただきたい。	
② 家庭教育の充実		生涯学習課
活動内容	家庭教育推進事業の一環として、市内幼稚園、保育園、小中学校を対象に「子育て講座(40講座)」を開催する。また、「おしゃべり広場ひだまり」は子育てサポーターと連携し、子育て中の親を対象に育児の悩みや不安の解消を図る。	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る <small>(達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</small>	<small>長年継続している「おしゃべり広場ひだまり」を前期・後期併せて12回実施。今年度は、幼児から高齢者まで幅広い年齢層の方が子育てカフェ、食育をテーマとした料理教室、ものづくり体験講座、エクササイズなどを行い約280名の参加があり、参加者からは好評であった。</small> <small>「子育て講座」は、40団体から申請があり予定通り実施、約2,100名の参加。平成29年度から行われている「家庭教育支援チーム推進事業」は、生涯学習フェスティバルと本場大館きりたんぽまつりにおいて木育ひろばを出店。各々約320名、約980名の親子が訪れた。昨年度から継続している「担当者スキルアップ研修会」は、あきたっ子を健全に育む会の会長を務める柴田静寛氏を講師に招き、子どものとの関わり方や子どもの権利の大切さなどを学び、約70名の参加があった。</small>
課題等	「おしゃべりひろばひだまり」の参加者数を思うように伸ばすことが出来なかつたので、開催日や内容の見直しを行い気軽に参加できるよう改善を図っていきたい。またチラシ・ポスターのデザインの見直しやSNSを活用するなど広く市民に周知し参加者増に繋げたい。	<small>取組の方向性</small> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	核家族化で手助けや相談相手もなく、スマホ検索くらいしか頼りとするものが若い世代の子育て夫婦にこそ、ぜひとも参加してもらいたい。子育て・孫育てから今後は親育てと、意義のある活動であるので引き続き周知を図ってほしい。	

重点施策点検・評価表

3-2-2

推進目標		
3 ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策		
2 「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する		担当課(館)
③ 音楽療法士派遣事業		生涯学習課
活動内容	<p>継続事業として、市内幼稚園、保育園、小中学校からの派遣依頼を受け、自閉症気味な子や発達が気になる子、特別支援学級在籍児童に対し音楽療法を実施し、児童の情緒の安定を図る。</p>	
点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/>目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>平成30年度は要請のあった市内の4小学校・1中学校の特別支援学級や、3保育園の気になる子を含めた保育園児を対象に全24回の派遣を実施した。 学校の先生と音楽療法士が協力して音楽療法活動を行い、児童生徒の精神的な安定と他人とのコミュニケーション能力の向上に努めることができた。</p>	
課題等	<p>一層の活動PRに努めるとともに、なるべく多くの学校等に派遣できるよう、音楽療法士の派遣スケジュール及び派遣回数の調整・対応に努める。</p>	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	<p>特に自閉症の子どもたちへの好影響は実感している。回数に限りもあるようだが、実施している学校に、他の校区からの参加ができる方法なども検討できないものか。</p>	
④ 青少年健全育成活動の充実		生涯学習課
活動内容	<p>青少年健全育成推進方針を策定し、関係機関と連携を図りながらさまざまな活動を実施し、青少年健全育成に対する市民の意識高揚と青少年健全育成のための環境整備を図る。</p>	
点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/>目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>学校及び青少年関連団体・機関等による青少年問題協議会を開催し、青少年健全育成推進方針の策定や情報共有・事業連携を図った。 7月7日(土)の「青少年を非行から守る市民のつどい」は、あいにくの雨天となったため街頭パレードは中止し、中央公民館の視聴覚ホールを会場に約250人の参加で開催した。大館曲げわっぱ太鼓の公演、防犯文集朗読発表を行い、青少年を非行や犯罪から守り、心身共に健やかに成長できる明るい社会づくり運動に努めた。</p>	
課題等	<p>街頭パレードは行えなかったものの、中央公民館会場での参加者としては例年より多くなった。今後は街頭パレードの開催を見直したい。 小学生からインターネットを活用している家庭が多くなっているため、子どもたちがインターネットを正しく使えるよう、家庭内でのルール化・セーフティ機能の必要性を周知していく。</p>	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	<p>本来は横断幕を掲げてパレードが昔からの光景なのだろうが、効果や状況を考えればパレードなしもやむをえない。青少年の健全育成のため、取り組み自体は継続してほしい。パレードをやらないのであれば、ドームでの開催を検討してみてはどうか。</p>	

重点施策点検・評価表

3-2-3

推進目標		
3 ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策		
2 「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する		担当課(館)
(5) 少年相談センターの活動の充実		生涯学習課
活動内容	青少年が抱える悩みや問題を解決するための相談活動や指導員による巡回活動のほか、関係機関・団体・学校等と連携したさまざまな活動を行うことにより、青少年の健全育成を図る。	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)	電話や面接による相談活動を実施するとともに、市内小中学校や、おおとり教室・子ども課等の青少年関連機関との連携を図りながら、青少年に限らず相談者の抱える問題解決に努めている。また、少年指導員の活動として市内全コンビニ巡回による子ども見守り依頼や街頭パトロール、生徒指導主事協議会との合同巡視など、青少年の健全育成活動に努めた。
課題等	年々、相談件数は増加傾向にあり、ここ数年では年間100件以上が常態化している。また、相談内容も青少年問題に限らず親世代のトラブルや貧困問題など、多岐にわたるケースもあり、相談対応者への負担が懸念されるため、相談専門員の増員が望まれる。(平成31年度当初予算措置済み)	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	増員はとても良いこと。さらに、うってつけの人材も見つかったようなので今後とも頑張っていただきたい。ただセンターで待っているのではなく、積極的に学校を訪問したりしていることが大変評価できる。この体制をぜひとも継続してほしい。	
(6) 関係機関への支援		生涯学習課
活動内容	青少年育成大館市民会議、大館市子ども会育成連合会、大館地区少年保護育成委員会など、青少年健全育成関係団体に活動費の補助や活動支援を行うことにより、地域の青少年健全育成活動の充実を図る。	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)	青少年健全育成活動や社会教育活動に関わる上記団体に対して活動費の補助を行ったほか、青少年育成大館市民会議の総会をはじめ、同団体が主催する「青少年育成推進事業2018シンポジウム」の開催補助など、各活動・事務面において支援している。
課題等	会員の高齢化が進み、これまでと同様の活動が難しくなっている団体もある。今後も各団体との連絡・連携を密にし、活動費補助のほか、それぞれの活動及び事務面での行政支援に努める。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	直接市民の目には触れないが子どもたちを育てるための大切な部分を担っているので、各団体や、特に指導者にも応援してあげてほしい。引き続き支援の継続をしていただきたい。	

重点施策点検・評価表

3-2-4

推進目標		
3 ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策		
2 「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する	担当課(館)	
(7) 社会教育委員の活動の充実		生涯学習課
活動内容	生涯学習推進計画や社会教育推進計画等、社会教育推進のための基本方針や重点施策を策定し、教育委員会点検・評価に対する必要な意見・提言を行い、社会教育活動の推進を図る。	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)	
課題等	北教育事務所主催の学校訪問や教育委員との合同学校訪問、教職員実践発表会への参加を通じ、各校が取り組むふるさとキャリア教育の実績・効果等を再確認した。各種会合等でふるさとキャリア教育を発信するなど社会教育委員活動、市民版ふるさとキャリア教育の推進につなげている。また、社会教育・生涯学習の重点施策や事務事業の点検・評価について協議し、必要な提言を行った。 平成30年度 のべ参加人数30人	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	ふるさとキャリア教育や学校と地域のつながりの中に社会教育委員として関わり、市民版ふるさとキャリア教育の推進に向け、見える活動を展開していきたい。	
(8) 生涯学習推進体制の充実		生涯学習課
活動内容	生涯学習に関する市民の意見・要望を反映させるため、関係相互団体と連携し、生涯学習推進協議会において協議するとともに、地域において学習活動を奨励するため、生涯学習奨励員の自己研鑽と活動の充実を図り、社会教育主事を養成しながらその組織化を目指す。	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
課題等	生涯学習推進協議会については、7月に幹事会(書面協議)、9月14日に協議会を開催。平成30年度生涯学習推進計画、社会教育推進計画を案件とし、各委員からさまざまな意見等が出された。 また、生涯学習奨励員については、個人活動のほか、総会・自主研修会の開催、生涯学習フェスティバルへの参加・協力、被災地支援・交流事業への参加、県及び北鹿地区の総会、研修会への参加などの活動を行った。	
学識経験者等の意見	生涯学習奨励員について、会議・研修会等への参加者に偏りが見受けられるため、より多くの奨励員が参加できるよう日程等について配慮を要する。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	人生100年とも言われ社会人の学び直しが検討される昨今、リタイヤしてからではなく、今何かを学ぶことが大事になる。じっくりと意見交換をし、そのために何ができるかを考えていってほしい。	

重点施策点検・評価表

3-2-5

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する
⑨ 高齢化社会に対応した生涯学習の充実	担当課(館) 中央公民館
活動内容	公民館サークル活動等の学習成果を生かす場の拡充や、高齢者の豊かな体験・知識・技術・特技を生かす場を充実させるため、子どもとの世代間交流も行う。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 中央公民館をはじめ、各地区公民館で高齢者学級の育成・強化に力を入れ、「老壯大学」などの高齢者事業を全館で実施している。公民館祭や地区文化祭などで、活動の成果を発表する場を設けている。また、各地区的サークル活動でも高齢者が活躍する機会が多く、中央公民館の書初め交流会では、老壯大学の書道サークルが子どもの指導をしているほか、地区公民館でも子どもとの世代間交流事業を行っている。
課題等	超高齢化社会に向かって、益々高齢者が増加する現状とは対照的に、中央公民館の老壯大学など高齢者事業の参加者は毎年減少している。特に近年は60歳を過ぎても就労している方が多く、新規の参加者が少ない。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 繼続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	高齢者が月1回でも外に出て、仲間と学ぶ場所があることはすばらしいこと。老壯大学の活動日を固定することで、地区館は別の曜日にしてどちらにも参加できるようにしているのはいいと思う。また、高齢者だけの事業にしないで、子供たちとも交流できるようにしていることは継続してほしい。
活動内容	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)
課題等	取組の方向性 <input type="checkbox"/> 繼続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	

重点施策点検・評価表

3-3

推進目標			
3 ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援			
重点施策			
3	高校生や大学生による「街づくり活動」等を支援する		担当課(館)
①	高校生・青年層対象の生涯学習ボランティア養成講座の実施		
	活動内容	高校生や若い世代に公民館活動の紹介と生涯学習ボランティア活動を体験してもらい、公民館の積極的な活用を促進する。「高校生まちづくり会議HACHI」の活動を継続して実施するともに、昨年は活動事例を紹介したり、他団体とのコラボした事業も行われたので、今後も取り組んでいきたい。また、地元の大学ともタイアップした事業を大学側のスケジュールを見ながら進めていく。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る <small>(達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</small>	
	「高校生まちづくり会議HACHI」では11人の新規参加があり、出身校も2校に増えた。今年度は「肉博」や「おおだてハッピー子育てプロジェクト」などのイベントに初参加した。また、まちづくりワークショップ(社会福祉事業団)や都市計画課職員を講師に「まちづくり活動」について数回にわたり意見交換した。一方、秋田看護福祉大とのタイアップは、「おおだてチームダンスフェスタ」への参加、運営協力を計画したが、学生の日程が合わず実施できなかった。		
	課題等	'HACHI'は新規メンバーの参加により21人となったが、主体の3年生が卒業すると、来年度以降の活動に支障が無いか危惧される。また、大学との連携は、行事スタッフのボランティア派遣をお願いしながら、地域の事業への参加を呼び掛けていく。	
	取組の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度	
	学識経験者等の意見	高校生の活動は地元紙で時々記事をみかける。活躍が記事になることでメンバーが増えるといい。積極的に情報発信してほしい。大学生との事業は、学校の夏休みが長いことを考えると、大学側と日程のすり合わせができるだけ早く、まめに行って協力をいただくなど頑張ってほしい。	
②	ふるさと元気づくりパワーアップ事業の実施		
	生涯学習課		
	活動内容	平成30年度をひとつの区切りと位置づけ、これまでの活動に関する報告会を実施。一般市民及び市内の小～大学生を対象に大館の『元気づくり』活動を再認識・再発見する機会を設けるとともに、ボランティア活動への興味・関心の育成を図る。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る <small>(達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</small>	
	平成24年度から実施してきた本事業は、今年度を一つの区切りと考え、3月2日に中央公民館で、「平成23年3月11日から8年、被災地支援事業総括と被災地支援からの学び報告会」を開催。生涯学習課からの事業報告をはじめ、過去に活動に参加したボランティアや事業を引き継ぐ形となった「気仙沼出前交流プロジェクト実行委員会」委員長、初年度より事業のコーディネーターを務めた高橋秀一氏の講演を実施。約40人の市民が参加し、事業の意義と成果について周知できた。		
	取組の方向性	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度	
	課題等	事業自体はいったん休止とするものの、未だ大震災の傷跡は残っているため、被災地支援を続ける団体や個人へは、可能な範囲で継続して支援していきたい。	
	学識経験者等の意見	非常に良い取り組みだった。補助終了で廃止となるようだが、またいつか新たな取り組みをするために、マンネリ化せず区切りをつけるということも時には必要である。コーディネーターは、個人的なボランティア活動を継続しており、それも含めすばらしい事業であった。	

重点施策点検・評価表

3-4-1

推進目標																	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援																
重点施策																	
4	<p>① 「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する</p> <table border="1"> <tr> <td>活動内容</td><td>社会教育施設・各種機関・団体等に協賛・参加を呼びかけ、生涯学習に関する実践活動の発表の場や理解する機会を提供し、市民一人一人の生涯学習への意欲を高めるとともに、本年は、干支が「戌」であることから、「犬をテーマにしたイベント」を開催する。</td></tr> <tr> <td>点検評価</td><td> <p>□目標を上回る ■目標どおり □目標をやや下回る □目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>9月・10月を生涯学習推進月間とし、栗盛記念図書館や勤労青少年ホームなど、各機関・団体等による協賛イベントが開催され、延べ参加・入場者数は13,388人となった。※平成29年度12,108人。</p> <p>また、中央公民館会場では、9月22日・23日の2日間にかけて中央公民館サークル協議会や大館桂桜高校、鳳鳴高校、大館市発明協会のほか多くの団体等から協力を得て、各種展示・発表会の開催や体験ブースを設けることで、広く市民が生涯学習に触れる機会とした。</p> </td></tr> <tr> <td>課題等</td><td> <p>生涯学習フェスティバル協賛イベントのほか、敬老会やきりたんぽまつりなど各種イベント・行事が非常に多く、日程の重複を完全に避けることが難しい。また、市民文化会館・中央公民館の駐車保有台数は会場の大きさに比べてかなり少なく、城南小学校等を使用しても混雑を解消できていない。</p> </td></tr> <tr> <td>学識経験者等の意見</td><td>フェスティバルにおいては、生涯学習奨励員などの活動も促し、子どもたちにも活躍の場を増やすメニューを検討のうえ実施していただきたい。</td></tr> </table> <p>② 「大学公開講座」の実施</p> <table border="1"> <tr> <td>活動内容</td><td>市民の多様化・高度化した学習要望に応えるため、地域の高等教育機関との連携による公開講座を開催する。</td></tr> <tr> <td>点検評価</td><td> <p>■目標を上回る □目標どおり □目標をやや下回る □目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>第24回となる「大学公開講座」を、秋田看護福祉大学の協力のもと7月3~5日の日程で開催し、大学の教授陣に各専門分野についてわかりやすく講義していただいた。今年度は成年後見をテーマに取り上げたことにより、介護職の参加が多く、ここ10年で最高人数となる、のべ257人が受講した。</p> <p>また、新規事業として、秋田職業能力開発短期大学校の協力のもと12月7日、14日、25日の日程で「大学校公開市民講座2018」を開催した。まち育てやものづくり技術、プログラミング教育について大学校の教授陣がわかりやすく講義していただき、のべ55名の参加があった。</p> </td></tr> <tr> <td>課題等</td><td> <p>大学側には、毎年、テーマ設定や講師の選定で骨を折っていたいが、健康、医療、福祉、ボランティア活動など、市民のニーズに沿ったテーマを選定し継続して開催することが必要である。</p> <p>「大学校公開講座」は、年末の開催となったため、開催時期の見直しが必要。</p> </td></tr> <tr> <td>学識経験者等の意見</td><td>講座の内容が、市民の最近关心あるテーマにマッチしていて良かったのではないか。これからも、どう生きるかを考えることのできる講座を継続していただきたい。</td></tr> </table>	活動内容	社会教育施設・各種機関・団体等に協賛・参加を呼びかけ、生涯学習に関する実践活動の発表の場や理解する機会を提供し、市民一人一人の生涯学習への意欲を高めるとともに、本年は、干支が「戌」であることから、「犬をテーマにしたイベント」を開催する。	点検評価	<p>□目標を上回る ■目標どおり □目標をやや下回る □目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>9月・10月を生涯学習推進月間とし、栗盛記念図書館や勤労青少年ホームなど、各機関・団体等による協賛イベントが開催され、延べ参加・入場者数は13,388人となった。※平成29年度12,108人。</p> <p>また、中央公民館会場では、9月22日・23日の2日間にかけて中央公民館サークル協議会や大館桂桜高校、鳳鳴高校、大館市発明協会のほか多くの団体等から協力を得て、各種展示・発表会の開催や体験ブースを設けることで、広く市民が生涯学習に触れる機会とした。</p>	課題等	<p>生涯学習フェスティバル協賛イベントのほか、敬老会やきりたんぽまつりなど各種イベント・行事が非常に多く、日程の重複を完全に避けることが難しい。また、市民文化会館・中央公民館の駐車保有台数は会場の大きさに比べてかなり少なく、城南小学校等を使用しても混雑を解消できていない。</p>	学識経験者等の意見	フェスティバルにおいては、生涯学習奨励員などの活動も促し、子どもたちにも活躍の場を増やすメニューを検討のうえ実施していただきたい。	活動内容	市民の多様化・高度化した学習要望に応えるため、地域の高等教育機関との連携による公開講座を開催する。	点検評価	<p>■目標を上回る □目標どおり □目標をやや下回る □目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>第24回となる「大学公開講座」を、秋田看護福祉大学の協力のもと7月3~5日の日程で開催し、大学の教授陣に各専門分野についてわかりやすく講義していただいた。今年度は成年後見をテーマに取り上げたことにより、介護職の参加が多く、ここ10年で最高人数となる、のべ257人が受講した。</p> <p>また、新規事業として、秋田職業能力開発短期大学校の協力のもと12月7日、14日、25日の日程で「大学校公開市民講座2018」を開催した。まち育てやものづくり技術、プログラミング教育について大学校の教授陣がわかりやすく講義していただき、のべ55名の参加があった。</p>	課題等	<p>大学側には、毎年、テーマ設定や講師の選定で骨を折っていたいが、健康、医療、福祉、ボランティア活動など、市民のニーズに沿ったテーマを選定し継続して開催することが必要である。</p> <p>「大学校公開講座」は、年末の開催となったため、開催時期の見直しが必要。</p>	学識経験者等の意見	講座の内容が、市民の最近关心あるテーマにマッチしていて良かったのではないか。これからも、どう生きるかを考えることのできる講座を継続していただきたい。
活動内容	社会教育施設・各種機関・団体等に協賛・参加を呼びかけ、生涯学習に関する実践活動の発表の場や理解する機会を提供し、市民一人一人の生涯学習への意欲を高めるとともに、本年は、干支が「戌」であることから、「犬をテーマにしたイベント」を開催する。																
点検評価	<p>□目標を上回る ■目標どおり □目標をやや下回る □目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>9月・10月を生涯学習推進月間とし、栗盛記念図書館や勤労青少年ホームなど、各機関・団体等による協賛イベントが開催され、延べ参加・入場者数は13,388人となった。※平成29年度12,108人。</p> <p>また、中央公民館会場では、9月22日・23日の2日間にかけて中央公民館サークル協議会や大館桂桜高校、鳳鳴高校、大館市発明協会のほか多くの団体等から協力を得て、各種展示・発表会の開催や体験ブースを設けることで、広く市民が生涯学習に触れる機会とした。</p>																
課題等	<p>生涯学習フェスティバル協賛イベントのほか、敬老会やきりたんぽまつりなど各種イベント・行事が非常に多く、日程の重複を完全に避けることが難しい。また、市民文化会館・中央公民館の駐車保有台数は会場の大きさに比べてかなり少なく、城南小学校等を使用しても混雑を解消できていない。</p>																
学識経験者等の意見	フェスティバルにおいては、生涯学習奨励員などの活動も促し、子どもたちにも活躍の場を増やすメニューを検討のうえ実施していただきたい。																
活動内容	市民の多様化・高度化した学習要望に応えるため、地域の高等教育機関との連携による公開講座を開催する。																
点検評価	<p>■目標を上回る □目標どおり □目標をやや下回る □目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>第24回となる「大学公開講座」を、秋田看護福祉大学の協力のもと7月3~5日の日程で開催し、大学の教授陣に各専門分野についてわかりやすく講義していただいた。今年度は成年後見をテーマに取り上げたことにより、介護職の参加が多く、ここ10年で最高人数となる、のべ257人が受講した。</p> <p>また、新規事業として、秋田職業能力開発短期大学校の協力のもと12月7日、14日、25日の日程で「大学校公開市民講座2018」を開催した。まち育てやものづくり技術、プログラミング教育について大学校の教授陣がわかりやすく講義していただき、のべ55名の参加があった。</p>																
課題等	<p>大学側には、毎年、テーマ設定や講師の選定で骨を折っていたいが、健康、医療、福祉、ボランティア活動など、市民のニーズに沿ったテーマを選定し継続して開催することが必要である。</p> <p>「大学校公開講座」は、年末の開催となったため、開催時期の見直しが必要。</p>																
学識経験者等の意見	講座の内容が、市民の最近关心あるテーマにマッチしていて良かったのではないか。これからも、どう生きるかを考えることのできる講座を継続していただきたい。																

重点施策点検・評価表

3-4-2

推進目標		
3 ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策		
4 「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する	担当課(館)	
(3) 地域活動団体への支援		生涯学習課
活動内容	大館市連合婦人会等、地域活動団体への補助・活動支援を行うことにより、地域活動の活性化を図る。	
点検評価	□目標を上回る ■目標どおり □目標をやや下回る □目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)	
	市の予算の範囲内で申請のあったすべての団体に交付できた。各団体とも会員の確保に努め、活動内容を工夫しながら、衰退しないように努力している。	
課題等	今後も、市の予算の範囲内で補助金を交付し、情報交換しながら活動を支援し続ける。 平成30年度は、前年度同額で交付したが、財政より来年度以降、繰越額の有無による判断を求められている。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 繼続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	予算確保の難しさもあるだろうが、引き続き支援を継続していただきたい。	
(4) 地区住民や関係団体との連携強化		中央公民館
活動内容	地域コミュニティ活動を支えるため、関係団体・関係機関と情報交換を行い、さまざまな角度から支援を行う。また、その活動の様子を関係団体等に紹介することで連携を強化する。 特に東日本大震災以降は避難所としての機能の強化がより一層期待され、地区住民との連携強化が不可欠であるため、より良い協力関係を築いていく。	
点検評価	□目標を上回る □目標どおり ■目標をやや下回る □目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)	
	地区公民館では、運動会や文化祭などの行事を地元町内会や婦人会などと協力して行っているほか、他事業にも地域や団体の意見を反映させている。また、消防署や危機管理課の出前講座を活用した防災講座に地域ぐるみで取り組むなどして、関係機関とも連携を図っている。 今年度は12館中、中央、釈迦内、下川沿、真中、矢立、比内公民館で総合防災訓練や防災講座、避難所開設、応急処置や炊き出しの体験事業を実施したほか、上川沿、二井田を除く全館(10館)消防避難訓練を実施した。	
課題等	公民館は、地域コミュニティーの拠点であり、地域活動の支援はもちろんのこと、災害時の避難所として位置付けられている。少ない職員数で避難所として機能するためには、地域住民との連携は欠くことができない。 定期的に防災・避難訓練や災害を想定した事業を実施し、より良い協力関係を築くよう努力していきたい。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 繼続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	日頃から非常時の備蓄チェックカードを備え、発電機も月1回作動チェックしているようなので、「いざという時」に備えてほしい。	

重点施策点検・評価表

3-4-3

推進目標		
3 ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策		
4 「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する	担当課(館)	
(5) 地域コミュニティづくりに向けた支援体制の強化		中央公民館
活動内容	<p>地域のコミュニティ活動の拠点として、地区公民館の改築は一巡した。今後は分館等整備の進んでいない施設への環境整備を進めていきたい。</p>	
点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る ■目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>平成28年度の長木公民館の新築及び矢立公民館の移転改築で、地区公民館の改築は一巡したが、今後の維持管理で大規模修繕や改修が必要となる館もある。 また、ほとんどの地区公民館分館は老朽化しており、必要不可欠な修繕で対処しているが、地元の意見・要望を聞きながら、計画的に整備を進めていきたい。</p>	
課題等	<p>地区公民館分館は15館あるが、老朽施設が多く、計画的な整備にしても長期にわたり、その間に突発的な修繕が多々発生する。</p>	取組の方向性 ■ 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	<p>建物の年数が経っていくと修繕が必要な部分が多くなる。エアコン設置は後回しになるようだが、人的被害を及ぼすようなものや、施設の維持に支障を来すような箇所の修繕を優先して計画的に行ってもらいたい。</p>	
(6) 公民館事業の充実と参加促進		中央公民館
活動内容	<p>公民館の各種事業の内容を充実させ、魅力ある講座を開催する。さらに参加者の動向を見ながらレベルアップを図ることで、活発な公民館活動を展開する。また、既存の事業で参加者の少ない事業でも楽しみに来ている高齢者がいるため、存続できるようにしていきたい。</p>	
点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る ■目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>8月11日、ニプロハチ公ドームで夏期巡回ラジオ体操会を開催し、市民1,600人が参加した。NHKラジオを通じて、ふるさと大館の元気を全国に発信することができた。また、各事業の実施後、参加者から事業内容に関する意見や要望などアンケートを取り、集約している。それらを活かして、今後の事業に反映するように努めている。</p>	
課題等	<p>事業内容がマンネリ化しないように、NPOや出前講座の利用、他自治体の事例を参考にしながら、事業を充実させるとともに、新規講座の構想を練っていきたい。</p>	取組の方向性 ■ 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	<p>地区館で、公民館の事業や活動内容を地区住民に知ってもらうため、毎月「公民館だより」を発行し、全戸配付していることはよいこと、継続してほしい。中央公民館もホームページ版や館内掲示などで発行するよう頑張ってほしい。</p>	

重点施策点検・評価表

3-4-4

推進目標		
3 ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策		
4 「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する		担当課(館)
⑦ 放課後児童健全育成事業及び放課後子ども教室推進事業並びにわくわく土曜教室推進事業の実施		生涯学習課
活動内容	放課後児童を対象として、「安全・安心」を第一に充実した放課後を過ごせる場を提供する。さらに、土曜日等の支援として体験活動や学習機会を提供する。	
点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/>目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>今年度も各児童クラブごとに特色ある事業を展開し、直営全体でのドッジボール大会や初めてとなる「ふるさとカルタ大会」も盛況に行われ、他校の児童との交流や支援員同士の交流が図られた。</p> <p>また、支援員の情報交換やスキルアップを目的として毎月行われている定例会・研修会では、多彩なメニューで学習を積み重ねるとともに、直営のみならず委託の支援員との合同研修も行い、支援員のスキルアップを図り、児童の安全・安心な居場所づくりに努めた。</p>	
課題等	障害児等、支援を要する子どもについて、従事する支援員を適正配置でできるよう、協議しながら、事故・けがのないように努めていきたい。 求人倍率が最高水準を更新しており人手不足が顕著であるため、支援員にも欠員が生じている。引き続き、支援員の確保に努めたい。	<p>取組の方向性</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 繼続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度</p>
学識経験者等の意見	カルタやドッジボールで他校の児童と交流できるのは非常に良い経験になるのでぜひ継続していただきたい。不審者も多く、安全確保の心配もあり、また支援員不足で現場はぎりぎりの状況だと思う。適正な運営管理をしていただきたい。	
活動内容		
点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input type="checkbox"/>目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p>	
課題等		<p>取組の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 繼続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度</p>
学識経験者等の意見		

重点施策点検・評価表

3-5

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
5	「生涯読書」活動を推奨し、その推進と拡充に努める
① 図書館運営に関する進行管理	担当課(館) 生涯学習課
活動内容	指定管理制度による図書館運営について、指定管理者の提案書に基づく適正な運営に対する必要な支援と指導を行い、図書館サービスの向上を図り「生涯読書」活動を推進する。
点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/>目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>大館市図書館協議会からの提言に沿いながら指定管理者との協議を行い、図書館利用者へのサービス向上を図り「生涯読書」活動を推進し、読み聞かせ会や図書館ボランティアの育成、夜の図書館開放など、多様なイベントを通じ、親しみやすい図書館を演出し、利用者の増加を図った。 また、防犯カメラの導入、入館者数のセンサーでのカウンター導入など、環境整備も行った。</p>
課題等	<p>少子高齢、人口減少等の社会情勢の変化を踏まえながら、利用者サービスや各種事業の実施、情報発信を充実させ、さらに魅力ある市民に親しまれる図書館運営ができるよう、指定管理者と十分協議しながら支援していく。</p>
学識経験者等の意見	学校では、読書指導を実施しているが蔵書の冊数は限られている。図書館に来ればこんなにいろんな本があるよという、図書館利用指導を学校とタイアップしてはどうか。
活動内容	
点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input type="checkbox"/>目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p>
課題等	
学識経験者等の意見	

重点施策点検・評価表

3-6

推進目標		
3 ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策		
6 伝統・芸術・文化の継承と振興を支援する		担当課(館)
① 芸術文化団体への支援		生涯学習課
活動内容	大館市芸術文化連盟や比内芸術文化協会、田代地区芸術文化協会等、芸術文化団体に対し補助を行うことにより、地域の伝統文化や伝統芸能の活動を支援する。 補助金:大館市419千円 比内112千円 田代112千円	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 市の予算の範囲内での補助金交付を行っている。各団体とも補助金を有効に活用しながら、活動内容を工夫し運営に努めている。	
課題等	高齢化による会員の減少という共通の課題はあるが、各団体とも地域の伝統文化・芸能の保存・承継に積極的に取り組んでおり、今後も衰退しないよう支援を継続していく。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	伝統文化・伝統芸能の保存のため、今後も支援を継続していただきたい。	
② 芸術文化に関する事業の積極的な周知・活用		生涯学習課
活動内容	文化庁などが所管する各種事業等を関係団体や文化施設・学校等に積極的に周知、活用することにより、地域における芸術文化体験の機会を提供する。	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 市内芸術文化連盟・協会等に対する秋田県芸術文化振興基金やニッセイ財団等による助成事業の周知のほか、小中学校には子どもたちが質の高い芸術活動を身近に感じられる機会として文化庁「文化芸術による子どもの育成事業」巡回公演等の周知や取りまとめを行い、平成30年度には3校で実施。平成31年度も申請した5校がすべて採択されている。さらに、平成30年度は新規事業で文化庁補助の大館市伝統文化親子教室(地域展開型)を実施し大変好評であった。	
課題等	「あきた子どもの文化体験促進事業」や「秋田県青少年劇場」など、学校等が活用しやすい事業について、民間・行政を問わず情報提供に努めていく。文化庁補助事業は、2年目として手法を変えて実施予定。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	芸術文化体験の機会提供は、非常に大事であるので継続していただきたい。また、事務手続きなどについてより一層のサポートをお願いしたい。	